

あいち農産物生産流通レポート

平成24年3月号

情報サロン		
・イチゴ消費に関するアンケート調査を実施しました (農業総合試験場)		1
地域トピックス		
・第20回東海フラワーショー2012が開催されました (知多農林水産事務所)		2
東日本情報		
・京阪市場愛知県野菜連絡会役員が愛知県を訪問 (東京事務所)		3
西日本情報		
・2011年の農業総合試験場の10大成果 (農業総合試験場)		5
フラワーページ		
・第61回関東東海花の展覧会が開催される (東京事務所)		7
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		9
・名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し		10
花き		
・切花・鉢花の3月の見通し(県内市場)		22
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2010年12月)		26
関連指数		27

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

イチゴ消費に関するアンケート調査を実施しました

1 背景・ニーズ

農業総合試験場では、平成 16 年に育成したイチゴ品種「ゆめのか」に続く新品種の開発を進めています。

近年は、これまでの主な品種の形（紡錘形）とは異なる丸形の大粒イチゴ品種「あまおう」がブランド農産物として地位を固め、全国的に流通しています。このことから伺えるように一般消費者のイチゴに対する意識を把握することは、新たなブランド化を目指す際、戦略を検討するための重要な要素となることから、イチゴ消費に関するアンケートを平成 23 年 11 月 3 日に開催した。

農業総合試験場公開デーの来場者 150 名に対して行い、うち 135 名から回答をいただきました。

2 結果

(1) イチゴを買う際、重視する情報及び品質について

重視する情報は、「価格」が 76%（103 名）で最も多く、次いで「品種」「産地」でした。4 番目には、現時点では実際には行われていない「糖度表示」でした（図 1）。

重視する品質では、「甘さ」が 81%（109 名）で最も多く、次いで「傷みの有無」「色、赤さ」「大きさ」でした。「形」は他の品質に比べ低い回答率となりました（図 2）。

(2) 贈答用イチゴの価格設定について

新商品などの販売価格をいくらに設定するのが妥当かを調べるため価格受容性調査を行いました。調査方法は、「高すぎて買えない金額」「高いと感じ始める金額」「安いと感じ始める金額」「安すぎて品質に不安を感じる金額」と 4

段階の金額を消費者から聞き取りすることで、その商品の最適な価格帯を分析します。

今回の調査では、贈答用イチゴを買うという仮定条件で、理想的な価格帯を調べました。その結果、受容価格帯（消費者に受け入れられる価格帯）は 1,161 円～2,181 円、最適価格（理想的な価格）は 1,867 円でした。

3 価格受容性調査のすすめ

価格受容性調査は、上記のとおり比較的容易に行えるマーケティング手法です。農産物価格に関するアンケート調査を行う際は、是非取り組んでみてください。

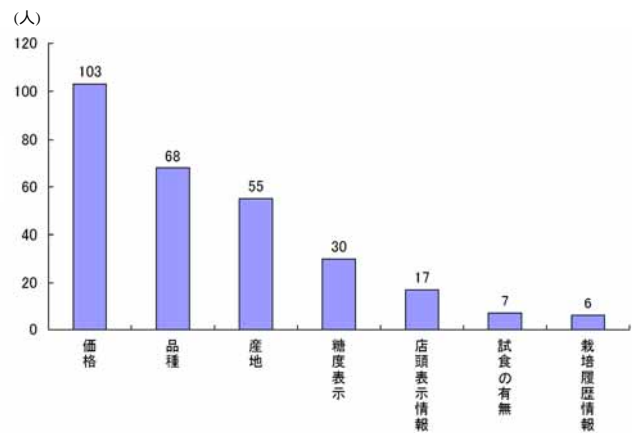


図 1 イチゴを買う際、重視する情報

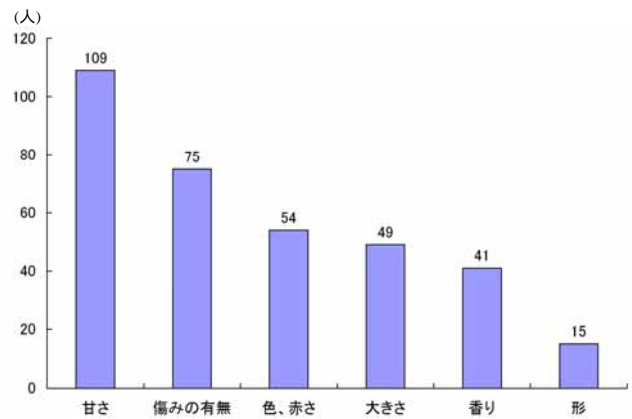


図 2 イチゴを買う際、重視する品質

第20回東海フラワーショー2012が開催されました

平成24年1月21日(土)から22日(日)の2日間、東海市の東海市民体育館で、「東海フラワーショー2012(以下、「ショー」という)」が開催されました。

ショーは、東海市花き園芸組合、東海市及びJAあいち知多で組織する東海フラワーショウ実行委員会が主催し、地元企業等の後援により開催され、今回で20回目となります。



ショウの会場風景

今回は、20周年特別事業として東海市ふるさと大使(タレントの山浦ひさしさん、川崎郁美さん)による東日本大震災復興支援チャリティーフラワーオークションも開催され、売上金は全額、岩手県釜石市の子ども就学支援に寄付されました。

会場では、東海市内の花き生産者や東海市農業センター等がそれぞれ工夫を凝らしたブースを出展するとともに、農業改良普及課と東海市による園芸相談や、ショー恒例の洋らん等の即売会場が設けられ、2日間で30,000人の来場者がありました。



20周年記念事業
チャリティーフラワーオークション会場



多くの人でにぎわう即売会場

京浜市場愛知県野菜連絡会役員が愛知県を訪問

年明けからの寒さが依然続く、2月7日(火)～8日(水)に、京浜市場愛知県野菜連絡会の役員が愛知県を訪れました。これは京浜地域の市場での愛知県産野菜のシェアが上がるこの時期にあわせ、今後の愛知県農業の発展に向けた意見交換を行うというものです。

初日は新しく完成したJ A あいちビルを会場に県農林水産部も交えて会議を開催しました。

この会の片岡会長(東京シティ青果(株))からは、「今回は、野菜連絡会行事として役員一同で愛知県にうかがい、産地あるいは県行政を代表する皆様方と直接お会いして意見を交わす機会をいただき感謝しています。この京浜市



野菜連絡会片岡会長

場愛知県野菜連絡会も、昭和51年10月に発足して以来、35年目を迎え、京浜の市場と愛知県の産地を結ぶ重要で伝統ある会として発展してきました。これ



J A あいち経済連近藤理事長

まで、愛知県産の主要野菜に対して、時代に即応した課題に対して、調査・研究を行い、生産流通に関する改善・提言を積極的に行い、多くの成果をあげてきました。様々な問題を解決するためにも、市場と産地が今後もより濃密な連携をしていくことが大切と考えます。」とのあいさつがありました。



食育推進課須田補佐

このあと、J A あいち経済連の近藤代表理事理事長からも、産地と市場の結びつきの重要性が語られ、県農林水産部食育推進課の須田課長補佐からは、愛知県の「食と緑の基本計画2015」に沿って、県の主要施策についての説明がなされました。

会議は終始なごやかな雰囲気で行われ、愛知県の園芸振興と活性化に向けた有意義な意見交換となりました。

翌日は、会場をＪＡあいち経済連東三河センターに移し、東三河地域のＪＡ販売担当者との意見交換会を行い、実務的な議論も交わされました。



ＪＡ愛知みなみ山口課長からの報告

(参考)京浜市場愛知県野菜連絡会の主な活動内容(平成23年度)

	開催期日	開催内容	開催場所
会議	平成23年 6月 9日	役員会	ゆうぼうと
	7月 5日	全体会議・秋冬野菜販売反省会	ゆうぼうと
	11月12日	秋冬野菜京浜地区販売会議	ゆうぼうと
	平成24年 2月 7日 ~ 8日	役員産地訪問	ＪＡあいちビル、東三河センター
キャベツ研究会	平成23年 4月20日	販売経過、次年度対策	大田・愛知会議室
	12月 3日	競合産地調査	千葉県、神奈川県
	12月10日	品質検討会	大田・愛知会議室
	平成24年 1月21日	愛知県内産地調査	愛知県豊橋、田原
	1月28日 2月25日	競合産地調査 品質検討会	千葉県、神奈川県 東京シティ青果
野菜研究会	平成24年 1月24日	品質検討会	大田市場・都会議室
トマト(ミニトマト)研究会	平成23年 5月10日	品質検討会	大田市場・都会議室
	12月 9日	品質検討会	大田市場・都会議室
	平成24年 1月24日 ~ 25日	産地研修会	群馬県、長野県
	平成24年 2月21日	品質検討会	大田市場・都会議室
つまもの研究会	平成24年 2月29日	品質検討会	東京シティ青果

農業総合試験場

2011年の農業総合試験場の10大成果

農業総合試験場では、農業の発展や農家経営の改善に役立つ新しい品種の改良や高度な技術の開発を行っています。こうした試験研究について、広く県民の方々に知っていただき、理解を深めてもらうことを目的として、平成16年から毎年、農業総合試験場の研究成果の中から、特に優れたものを10大成果として公表しています。

このたび、「2011年の10大成果」を選定しましたので紹介します。

1 選定結果

第1位	“桜吹雪”模様の卵をよく産む新たな「卵用名古屋コーチン」を開発
第2位	施設園芸の夏期高温対策技術を開発
第3位	帰化アサガオ類の除草技術を開発
第4位	特大の米粒が特徴の「愛知糯115号」を開発
第5位	鮮赤紫色の「クルクマ愛知1号」を開発
第6位	水田が持つ水質浄化の可能性を評価
第7位	スプレーカーネーション「カーネ愛知6号」を開発
第8位	中山間地域の水田畦畔の草刈り作業を経営評価
第9位	ECの差による堆肥の腐熟度判定法を開発
第10位	ブドウ「シャインマスカット」の栽培マニュアルを作成

2 選定方法

(1) 選定の手順

選定委員が「実用性」「新規性」「社会性」「普及性」の観点から5段階で評価点を付け、得点の高い順に10課題を選定しました。

(2) 選定委員

柴田 智子 公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
消費生活アドバイザー

山上 圭吾 ミツカングループ本社品質環境部長

山元 修治 日本放送協会名古屋放送局制作部長

山内 章 名古屋大学農学国際教育協力研究センター長

伊藤 清一 愛知県農業総合試験場長

3 今年の特徴・傾向

全国に誇る本県のブランド鶏である「名古屋コーチン」の産卵能力を大きく向上させたことと、「桜吹雪」と呼ばれる白い斑点が多く現れるように10年かけて改良したことが評価され、新たな「卵用名古屋コーチン」が第1位に選ばれました。

例年は、新品種・新系統の開発が上位に選ばれる傾向がありましたが、2011年は、夏期高温対策や帰化雑草の防除技術の開発など、栽培上大きな問題となっていることを克服する新技術の開発が上位に選ばれました。

品種、技術の開発に関する研究が多い中、経営に関する研究が初めて選ばれました。

4 公表

第1位から第10位の成果の詳細は、農業総合試験場のホームページでご覧いただけます。(ホームページアドレス <http://www.pref.aichi.jp/nososi/>)

愛知県農業総合試験場

2011年の10大成果

第1位



“桜吹雪”模様の卵を
よく産む 新たな
「卵用名古屋コーチン」を開発

第2位



施設園芸の夏期
高温対策技術を開発
(農林水産省新たな農林水産政策を
推進する実用技術開発事業成果)

第3位



帰化アサガオ類の
除草技術を開発
(農林水産省委託プロジェクト研究成果)

第4位



特大の米粒が特徴の
「愛知糯115号」を開発

第5位



鮮赤紫色の
「クルクマ愛知1号」を開発

第6位



水田が持つ水質浄化の
可能性を評価

第7位



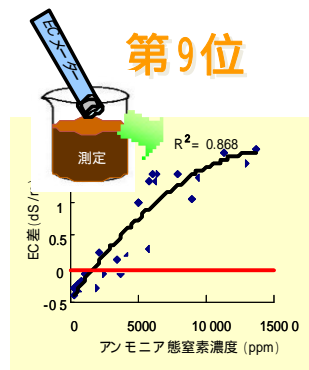
スプレーカーネーション
「カーネ愛知6号」を開発

第8位



中山間地域の水田畦畔の
草刈り作業を経営評価

第9位



ECの差による堆肥の
腐熟度判定法を開発

第10位



ブドウ「シャインマスカット」の
栽培マニュアルを作成

第61回関東東海花の展覧会が開催される

日本で最も歴史があり、我が国を代表する花の品評会である関東東海花の展覧会が、2月3日（金）～5日（日）にかけて、サンシャインシティ文化会館（豊島区池袋）で開催されました。

この展覧会は、花に対する理解を深め、一層の消費拡大を図ることを目的として、その名のとおり関東、東海地区の1都11県（東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、群馬、栃木、山梨、静岡、愛知、岐阜、三重）が中心となり毎年開催されています。東京事務所農産物流通対策グループでは、首都圏における花き振興の観点から、毎年、本展覧会の運営業務に協力しています。

3日の午前中は、花き関係者が集う中、オープニングセレモニーが行われました。まず始めに主催県を代表して千葉県の森田健作知事よりあいさつがあり、テープカットが行われました。続いて皇室の御観覧をいただいた後、一般に公開されました。（写真1）



写真1 見物客で賑わう会場

一般公開の前日（2月2日）に行われた品評会の審査では、9部門（カーネーション、キク、バラ、一般切り花、一般鉢物、花苗、観葉植物、球根切花、洋ラン）ごとに、本数、開花程度などの出品基準が確認された後、花型、草姿のバランス、病害虫や色の出方、曲がりの有無などの品質評価に加えて、市場性（商品性）の有無等を総合して入賞出品が決定されました。

今回の総出品点数は昨年より84点少ない1,851点で、いずれの部門も昨年より少ない出品となりました。このうち優れた品質を有する553点が入賞しました。

本県からは197点が出品され、11点が金賞を受賞し、その内の2点が農林水産大臣賞を受賞しました。他には、銀賞が22点、銅賞26点の入賞となりました。

キク部門で農林水産大臣賞を受賞した田原市の伊藤和郎氏の輪ギク「品種名：神馬」は、「草姿のバランスが良く、ボリュームがあり、切り前もよく揃っている」点が評価されました。（写真2）

また、観葉部門で農林水産大臣賞を受賞した長尾悟氏のフィロデンドロン「品種名：セローム」は、「1mを超える大作で、茎葉の大きさ、色、つや、葉の展開のバランスなどが自然で完成度が高い」点が評価されました。（写真3）



写真2 輪ギク（神馬）



写真3 フィロデンドロン

同展覧会では、これらの花き出品展示に加えて、主催県（千葉）による特別展示、各県の展示も行われました。また、フラワーデザインコンテスト、フラワーアレンジメント及び花育に関する教室イベントなども催されました。

各県展示のうち、愛知県では、農業総合試験場育成のカーネーション、県内の生産者が育成した鉢物類等の展示を行いました（写真4）。

開催期間中は寒い日などもありましたが、同展覧会には非常に多くの見物客が訪れました。客の中には、熱心に写真を撮ったり、花談義を楽しむ光景が随所で見られ、関心の高さが窺われました。特に「質の高い様々な種類の切り花、鉢花をみることが出来る展覧会」として、毎年楽しみにしている客も多くみられます。



写真4 愛知県の展示コーナー

また、生産者にとっても、産地や生産者名が記された出品票がつけられており、生産者の実力をアピールする絶好の機会でもあることから、出品意欲が高く、入賞は生産の励みとなっています。

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 やや : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：ふき）

	入荷量 (t)		卸売価格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
23年実績	148	143 (97%)	248	246	岐阜 (3%) 徳島 (1%)
24年見通し	160	—	250	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知産がほとんどで、知多市、稲沢市、愛西市を中心に入荷。 10月の台風と1月2月の低温の影響で生育悪く、記録的な数量減。これに伴い価格も上昇。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>			<p>品種は愛知早稲、愛経2号。愛知早稲は育成がよく、愛経2号は耐病性が強い。生産者の高齢化に伴い、生産量が減少しており、一般向け需要も、手間のかかる調理を避ける若い人を中心に減少が続いている。 販売では、試食（ふきごはん）で美味しさをアピールしたり、調理法を普及するなど消費者の関心を高める取組みが続いている。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：ふき）

	入荷量 (t)		卸売価格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
23年実績	270	268 (99%)	263	262	中国 (0%) 群馬 (0%)
24年見通し	280	—	300	—	
概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>本県産の入荷が大部分を占める。2月上旬から促成ものに切り替わり、3月は入荷が本格化する。これまでは寒さの影響から成長の遅れもあり、出荷量は少なめで高値で推移してきている。出荷が本格化するの3月中旬以降の見込み。それを受けて量販店では春商材としての特売が増える見通し。 入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>			<p>本県産のふきは、春商材として、業務だけでなく量販店からの需要もある。量販店からは売りやすい形の産地加工を望む声もある。 また、簡単にできる家庭での調理法のPRも重要となる。 本県産促成ふきは柔らかくおいしいことから市場評価が高い。出荷にあたっては、切り口の処理など品質保持には特に注意して欲しい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の3月の見通し

名古屋市中央卸売市場

2月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	19年	37,885	192	181	189	208	愛知 29%
	20年	34,903	209	220	208	200	北海道 16%
	21年	35,108	204	198	204	208	鹿児島 9%
	22年	35,111	213	209	217	214	熊本 4%
	23年	34,059	215	216	221	210	
	5カ年平均	35,413	207	-	-	-	
	24年見通し	33,600	209	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は地元愛知と土ものの北海道が中心。葉もの、果菜を中心に日照不足と低温の影響があるが、今後の気温上昇に伴い回復する見通し。 入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに下回る見込み。							
だいこん	19年	1,919	79	55	73	114	千葉 25%
	20年	1,509	91	102	85	84	静岡 2%
	21年	1,698	81	74	76	92	神奈川 17%
	22年	1,741	89	74	82	114	徳島 16%
	23年	1,749	85	81	88	87	
	5カ年平均	1,723	85	76	81	99	
	24年見通し	1,700	90	90	90	90	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は千葉、静岡中心の出荷となる。静岡が終盤を迎え、千葉、鹿児島は春だいこんへ移行する時期だが、低温の影響で生育が遅れている。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							
にんじん	19年	2,677	73	59	79	88	愛知 49%
	20年	2,087	169	160	170	177	徳島 33%
	21年	2,432	120	120	122	119	鹿児島 16%
	22年	2,092	96	84	98	104	中国 1%
	23年	2,058	184	148	179	225	
	5カ年平均	2,270	125	111	127	139	
	24年見通し	2,000	170	140	170	200	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知が中心で他に徳島、鹿児島など。愛知の碧南にんじんは1割少ない見込み。鹿児島は生育良好で3月までは順調。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

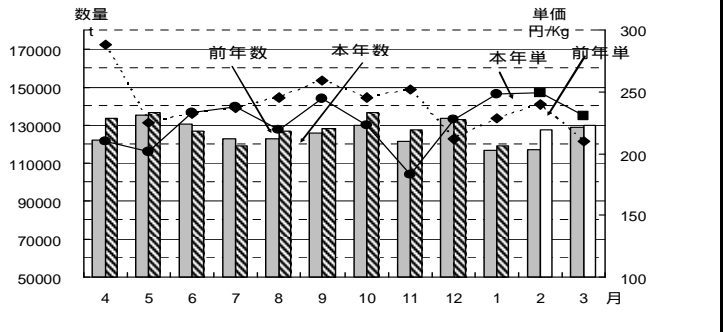
2月20日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	19年	131,085	222	206	218	242	千葉 16%
	20年	130,238	238	250	238	228	茨城 12%
	21年	128,245	236	231	238	240	愛知 11%
	22年	130,607	241	234	241	251	北海道 9%
	23年	128,893	219	228	232	199	(愛知産比率 11%)
	5カ年平均	129,814	231	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	130,000	230	-	-	-		

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

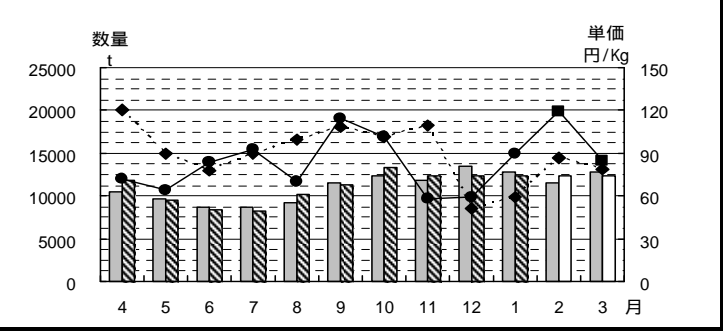
関東産地からの入荷が中心で、土物類は北海道からの入荷となる。昨年は震災直後ということもあり特殊な入荷と価格体系となった。今年は、2月も低温・乾燥が続く、入荷は今後の天候次第である。
入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや上回る見込み。



だいこ	19年	12,056	68	52	56	101	神奈川 63%
	20年	12,123	86	103	80	74	千葉 36%
	21年	12,517	71	73	64	76	
	22年	12,617	86	84	76	99	
	23年	12,881	79	82	86	71	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	12,439	78	79	73	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	12,300	85	90	85	80		

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

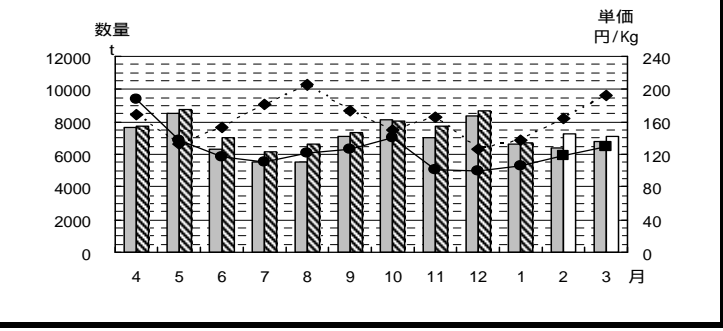
前月に引き続き関東産地からの入荷がほとんどを占める。神奈川は遅れが回復し、単価高もあり前倒し出荷傾向である。千葉の生育は低温・乾燥の影響が大きく遅れもあり急増は望めない。
入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。



にんじん	19年	8,554	77	73	74	84	千葉 43%
	20年	6,830	189	189	189	188	徳島 28%
	21年	7,862	133	143	130	127	鹿児島 7%
	22年	8,086	94	89	89	104	埼玉 5%
	23年	6,777	193	169	196	213	(愛知産比率 4%)
	5カ年平均	7,622	133	132	136	143	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	7,100	130	130	130	130		

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

前月に続き千葉を中心とした関東産地からの入荷が多く、徳島からの入荷も始まる。千葉は寒さが厳しく出荷量は少なめで推移する。徳島の生育は遅れ基調も回復し生育自体は順調である。
入荷量は少なかった前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。



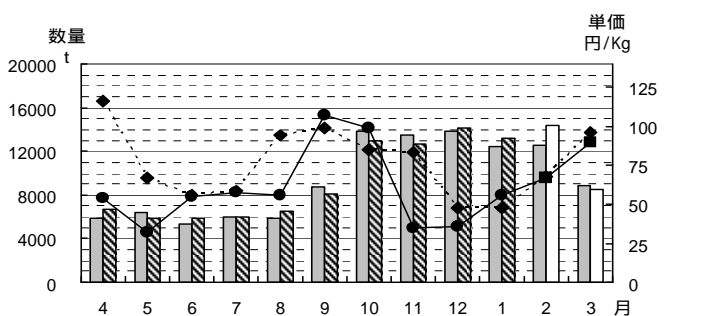
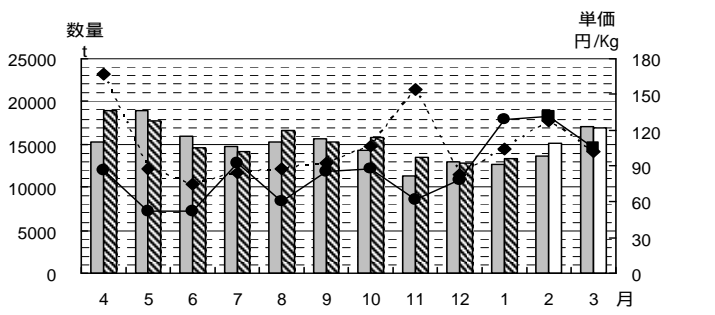
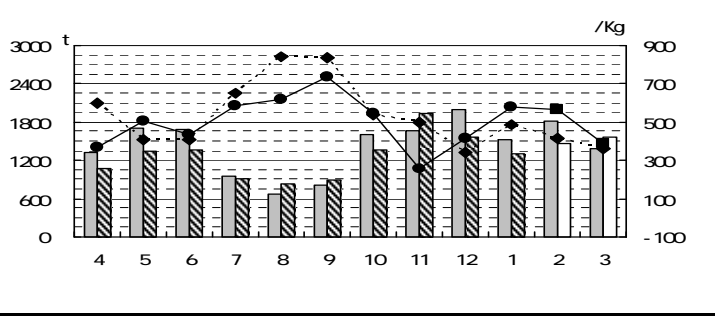
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほう き さい	19年	2,411	77	61	79	90	長崎 31% 愛知 31% 兵庫 20%
	20年	2,074	112	114	118	106	
	21年	2,096	103	92	106	111	
	22年	2,281	77	67	78	86	
	23年	1,991	104	81	109	129	
5ヵ年平均	2,171	94	82	97	103	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
24年見通し	1,900	100	90	100	110		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は地元愛知と長野、兵庫中心。1月、2月は低温・干ばつの影響で遅れていたが、その分3月の中盤以降まとまった数が出てくる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、単価は前年をやや下回る見込み。</p>					
キャ ベ ツ	19年	4,088	66	53	69	76	愛知 95% 兵庫 3% 鹿児島 1%
	20年	3,928	93	108	98	79	
	21年	3,869	85	77	83	93	
	22年	4,036	83	86	78	86	
	23年	4,466	89	88	103	79	
5ヵ年平均	4,077	83	82	86	82	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
24年見通し	4,200	80	90	80	70		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知中心で、兵庫が若干ある。低温と干ばつの影響により、出荷量は不安定で小玉傾向。3月の気温上昇に期待している。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ほう れ ん そ う	19年	423	338	234	469	404	愛知 89% 徳島 3% 茨城 3% 福岡 2%
	20年	532	218	332	159	173	
	21年	378	345	272	371	410	
	22年	363	381	234	441	582	
	23年	392	272	191	346	305	
5ヵ年平均	418	304	258	344	359	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
24年見通し	390	320	320	300	340		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は地元愛知中心で不足を補う量が群馬、徳島、福岡等から入る。冬系は終盤を迎える。春物の生育は低温の影響でおもわしくない。春物入荷は3月20日頃からの入荷見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	19年	7,334	58	36	73	80	茨城 54%
	20年	6,891	111	103	114	121	兵庫 29%
	21年	7,509	98	86	92	119	群馬 10%
	22年	8,686	59	44	56	85	長崎 3%
	23年	8,889	96	76	110	106	(愛知産比率 1%)
さい	5カ年平均	7,862	84	68	88	102	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	8,500	90	70	90	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城が入荷の中心となり、兵庫、群馬がそれに続く。茨城は3月出しの定植・生育が遅れているため、中下旬に出荷の谷間ができる。兵庫は貯蔵ものだが若干少ない見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>					 <p>数量 t / 単価 円/Kg</p>
キャベツ	19年	15,468	79	64	82	92	愛知 70%
	20年	15,244	104	116	108	92	千葉 14%
	21年	15,702	98	90	100	103	神奈川 13%
	22年	16,757	97	96	92	104	茨城 1%
	23年	17,062	102	99	117	91	(愛知産比率 70%)
べっ	5カ年平均	16,047	96	93	100	96	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	17,000	105	110	105	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知と千葉、神奈川からの入荷が中心となる。愛知は2月の遅れ分を含めて平年並の見込み。神奈川は3月当初から春キャベツに切り替り、低温、乾燥でやや遅れ気味。千葉は降雨による病害の懸念あり。 入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					 <p>数量 t / 単価 円/Kg</p>
ほうれんそう	19年	1,611	424	344	507	461	千葉 25%
	20年	1,912	289	322	260	283	群馬 23%
	21年	1,498	402	409	393	403	埼玉 22%
	22年	1,619	403	313	453	486	茨城 19%
	23年	1,383	358	310	430	367	(愛知産比率 0%)
れん	5カ年平均	1,605	372	340	409	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,550	385	400	390	370	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷がほとんどを占める。茨城、千葉、群馬ともに年末から品薄高値状態が続いていたが、今後の天候次第では遅れ分の回復、急増の可能性もある。 入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					 <p>数量 t / 単価 円/Kg</p>

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	19年	981	235	227	241	239	大分 24% 愛知 23% 静岡 12% 鹿児島 7%
	20年	889	446	463	448	427	
	21年	962	283	303	277	269	
	22年	905	344	329	364	333	
	23年	931	343	366	338	323	
5カ年平均	933	328	335	331	316	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
24年見通し	950	320	280	320	360		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、大分、静岡、鳥取で長ねぎと白ねぎ。各産地とも生育は順調。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
し た す	19年	1,755	239	184	249	295	兵庫 44% 茨城 22% 熊本 13% 静岡 8%
	20年	1,897	194	253	197	151	
	21年	1,632	225	210	225	236	
	22年	1,772	232	206	220	277	
	23年	1,503	193	186	202	191	
5カ年平均	1,712	217	209	219	230	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
24年見通し	1,650	220	240	220	200		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は兵庫の淡路、茨城中心で、他に熊本、静岡。各産地とも低温の影響で遅れ気味。静岡は3月上旬にピークを迎え20日あたりで終了見込み。茨城は中旬から出回る見通し。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
き ゆ う り	19年	1,687	256	289	262	224	愛知 50% 宮崎 22% 高知 17% 鹿児島 7%
	20年	1,580	259	271	267	242	
	21年	2,316	221	166	233	276	
	22年	1,298	376	362	484	302	
	23年	1,470	242	291	255	197	
5カ年平均	1,670	263	263	288	249	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
24年見通し	1,400	320	350	320	290		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、高知、宮崎、群馬中心。各産地とも低温・日照不足で入荷量は少ないが、ひな祭り需要で上旬にかけて引合い強く堅調となる見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	19年	4,904	161	143	153	190	千葉 45%
	20年	4,320	381	373	382	388	埼玉 23%
	21年	4,829	183	215	160	170	茨城 13%
	22年	4,434	317	317	329	301	中国 8%
	23年	4,285	285	313	323	221	(愛知産比率 0%)
5ヵ年平均		4,554	261	272	269	254	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し		4,300	290	300	290	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも、低温・乾燥の影響で上旬は少なめで価格は堅調で推移することが予想されるが気温の上昇により消費環境も変化してくる。</p> <p>入荷量は前年並が見込まれ、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
しそ	19年	7,106	214	168	213	271	茨城 37%
	20年	8,231	179	235	178	132	静岡 20%
	21年	7,166	208	202	211	210	香川 11%
	22年	8,009	207	186	194	249	兵庫 8%
	23年	7,668	160	171	173	135	(愛知産比率 1%)
5ヵ年平均		7,636	193	193	193	198	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し		7,300	190	220	200	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡、香川に代わり、茨城からの入荷が本格化してくる。茨城は低温・乾燥で小玉傾向による出荷量減少が予想される。香川などは遅れ分の3月出荷が期待できる。</p> <p>全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
きゅうり	19年	6,714	265	285	277	237	埼玉 20%
	20年	6,530	273	282	274	265	群馬 20%
	21年	5,806	398	542	396	311	千葉 18%
	22年	5,780	392	388	488	313	茨城 14%
	23年	6,230	234	296	260	163	(愛知産比率 0%)
5ヵ年平均		6,212	309	359	339	258	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し		5,900	330	370	320	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷が中心。群馬は低温・曇天の影響で肥大が遅く遅れ気味。埼玉は低温の影響で5日程度遅れ気味。千葉も曇天続きで出荷量は伸びてこない。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	19年	953	292	296	286	291	愛知 52%
	20年	845	318	325	319	313	熊本 45%
	21年	638	360	351	387	351	高知 3%
	22年	719	330	312	339	337	宮崎 0%
	23年	829	309	341	324	280	
す	5ヵ年平均	797	319	323	327	311	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	780	320	320	320	320	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/kg		
		産地は愛知の干両と熊本の長なす。低温、日照不足により入荷量少なめ。今後、気温が上昇し日差しが伸びれば、生育回復する見込み 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。					
ト	18年	1,142	414	408	397	437	熊本 42%
	19年	1,191	329	312	322	347	愛知 36%
	20年	1,007	419	415	446	407	三重 14%
	21年	1,022	389	349	396	423	岐阜 5%
	22年	1,222	299	318	305	278	
ト	5ヵ年平均	1,117	367	358	370	375	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,100	350	350	350	350	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/kg		
		産地は愛知、熊本、三重中心。3月から春物に切り替わるが、低温の影響で前月に引き続き入荷量は少ない。日照が増えれば入荷量も増加するので、4月半ば以降から増加見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。					
ミ	19年	235	779	767	768	799	熊本 51%
	20年	248	680	673	704	668	愛知 33%
	21年	227	791	821	925	694	和歌山 12%
	22年	293	695	695	715	679	
	23年	315	595	668	597	542	
ト	5ヵ年平均	264	700	719	730	668	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	300	633	700	600	600	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 単価 円/kg		
		産地は熊本、愛知中心。1、2月の曇天により生育遅れるが、着果は悪くない。中旬頃から日照時間が長くなるとともに入荷量も増える見込み。またサラダ商材の需要増で良好な見通し。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
なす	19年	3,767	339	364	337	320	高知 58%
	20年	3,299	370	383	396	343	福岡 20%
	21年	2,717	418	425	440	400	熊本 6%
	22年	2,596	402	367	421	417	佐賀 6%
	23年	2,933	352	407	370	299	(愛知産比率 -%)
	5ヵ年平均	3,062	373	389	393	356	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	2,800	400	400	400		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に引き続き西南暖地からの入荷が中心となる。各産地とも曇天続きで不安定な出荷が続いていたが、3月に入り気温が上がってくれば出荷量も安定してくる。 入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
トマト	19年	5,852	445	440	414	476	熊本 25%
	20年	6,065	365	344	363	385	栃木 22%
	21年	5,052	478	473	493	473	愛知 11%
	22年	5,487	440	405	450	463	茨城 7%
	23年	6,167	322	356	348	270	(愛知産比率 11%)
	5ヵ年平均	5,725	406	404	414	413	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	6,100	380	410	380	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き熊本、栃木、愛知からの入荷が中心となる。熊本をはじめ各産地とも着果状況は良好であるが、低温・曇天の影響で色回りが遅れている。回復は今後の天候次第である。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ミニ トマト	19年	956	750	763	741	744	熊本 36%
	20年	918	668	649	681	673	愛知 25%
	21年	910	786	848	945	659	宮崎 13%
	22年	1,092	690	700	720	406	千葉 10%
	23年	1,237	531	631	558	422	(愛知産比率 25%)
	5ヵ年平均	1,023	676	718	729	581	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,000	750	850	750	650	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き愛知、熊本からの入荷が中心となる。2月は寒波、曇天の影響から出荷量が少なく、価格も高水準で推移した。3月に入っても各産地とも増量は中旬以降の見込み。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込みである。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	19年	586	539	588	562	480	宮崎 44%
	20年	590	496	542	479	426	鹿児島 39%
	21年	371	802	782	846	788	高知 17%
	22年	398	741	716	880	641	
	23年	499	545	594	588	483	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	489	603	628	642	541	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	500	600	600	600	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は西南暖地中心。低温の影響で現在は高値だが、3月以降は気温上昇にともない価格回復見込み。昨年が安値だったので、今年は平年並み見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	19年	3,349	143	135	142	152	鹿児島 63%
	20年	3,753	118	114	113	129	北海道 37%
	21年	3,812	131	127	143	126	長崎 0%
	22年	3,467	161	160	167	156	
	23年	2,786	232	201	225	258	(愛知産比率 0%)
いしょ	5カ年平均	3,433	153	144	154	159	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	2,900	180	180	180	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は鹿児島、北海道中心。北海道の貯蔵ものが終盤を迎え、鹿児島の春もの中心に移行する。北海道の残量は少ない見込み、長崎は終了。離島もののばれいしょが増えてくる見通し。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	19年	6,328	88	89	88	86	北海道 74%
	20年	5,587	80	77	81	81	静岡 11%
	21年	5,969	83	83	78	86	アメリカ 10%
	22年	6,309	109	115	117	97	愛知 3%
	23年	5,422	120	126	132	106	
ねぎ	5カ年平均	5,923	96	98	99	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	5,500	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は北海道の貯蔵ものと、新玉ねぎの静岡、愛知が中心。静岡の入荷はピークを迎える。愛知は低温の影響で上旬は少なめ、下旬から量が増える見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	19年	2,039	539	583	576	472	茨城 41%
	20年	1,916	518	629	485	463	宮崎 28%
	21年	1,461	811	847	852	755	高知 17%
	22年	1,452	732	719	873	609	鹿児島 13%
	23年	1,734	516	598	609	375	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	1,720	608	675	679	535	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,730	600	650	600	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地からの入荷に加え、茨城からの入荷が増える。茨城は寒さ厳しく玉伸びが鈍いが樹の状態は悪くない。宮崎、高知も寒さと曇天で肥大スピードが遅く出荷量が増えてこない。 入荷量は前年並が見込まれ、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	19年	8,750	120	114	118	127	北海道 68%
	20年	9,988	102	101	103	102	鹿児島 29%
	21年	8,989	123	116	130	124	長崎 2%
	22年	8,464	156	152	159	156	(愛知産比率 0%)
	23年	8,884	191	172	189	207	(愛知産比率 0%)
いしょ	5カ年平均	9,015	137	130	139	142	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	9,300	160	155	165	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心となる。北海道は計画出荷の終盤であるが、貯蔵量は前年並。鹿児島は面積増あり昨年を上回る出荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	19年	11,679	102	104	101	100	北海道 64%
	20年	10,940	95	92	96	98	米国 13%
	21年	11,059	99	92	98	105	静岡 11%
	22年	9,818	142	144	142	141	長崎 3%
	23年	10,865	139	142	140	136	(愛知産比率 1%)
ねぎ	5カ年平均	10,872	115	114	115	115	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	11,400	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷が中心で、静岡からの入荷が増加してくる。北海道は計画出荷の終盤に近づいているが、出荷量は2月に引き続き安定する見込み。静岡は寒さの影響で若干遅れ気味。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	19年	11,627	373	385	366	366	フィリピン 22%
	20年	11,219	321	315	316	333	青森 19%
	21年	10,735	320	322	318	321	愛知 10%
	22年	10,401	319	312	317	330	愛媛 9%
	23年	9,191	353	356	364	344	
	5カ年平均	10,635	337	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	8,700	350	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん、りんごに加え、いちごの入荷が本格化。柿は切り上がり、上旬若干量残る。みかんは作況良く豊作。りんごは、台風の影響で下級品が出る。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並み見込み。</p>					
り ん ご	19年	2,250	270	262	268	283	青森 97%
	20年	1,896	262	262	261	262	秋田 3%
	21年	2,142	223	225	216	226	長野 0%
	22年	1,766	257	261	258	251	
	23年	1,833	244	242	244	245	
	5カ年平均	1,977	251	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,200	330	330	330	330	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は青森中心で、補うかたちで秋田と長野。入荷量が大幅減なので、それに伴い高単価が続く。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
い ち ご	19年	1,745	929	1,149	912	757	愛知 57%
	20年	1,686	852	876	840	841	熊本 21%
	21年	1,393	921	1,036	1,034	770	鹿児島 8%
	22年	1,283	965	951	1,037	910	三重 5%
	23年	1,428	885	903	975	804	
	5カ年平均	1,507	908	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,350	900	900	900	900	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知中心で、他に熊本、鹿児島。愛知は上中旬に3番果のピークを迎えるが、端境期で去年よりは少ない見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並み見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	19年	37,045	420	436	412	410	愛媛 23%
	20年	38,945	349	343	349	356	フィリピン 14%
	21年	38,540	349	351	349	347	青森 13%
	22年	39,373	326	315	329	333	熊本 6%
	23年	32,381	365	394	362	339	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	37,257	361	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	37,000	365	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>りんご、中晩柑、いちご中心に入荷する。みかん類は終盤となる。中晩柑の「不知火」「いよかん」は低温障害で小玉だった昨年より大玉傾向に仕上がっている。総入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並みと見込まれる。</p>					
り ん ご	19年	7,696	262	256	263	268	青森 98%
	20年	6,705	258	257	261	257	秋田 1%
	21年	7,907	216	210	218	219	長野 1%
	22年	7,230	238	234	240	238	山形 0%
	23年	7,659	225	223	231	221	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	7,439	239	235	242	240	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	5,000	370	350	370	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森から「ふじ」のCA貯蔵もの中心に入荷する。産地の在庫は前年よりかなり少ない。果実は前年よりはる大玉傾向で食味も良好である。前倒し出荷となっていることもあって、品薄感が強い。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年大幅に上回る見込み。</p>					
い ち ご	19年	6,503	988	1,207	987	810	栃木 33%
	20年	6,269	923	937	913	918	福岡 17%
	21年	5,368	1,015	1,189	1,071	866	佐賀 13%
	22年	4,696	1,024	1,018	1,150	918	茨城 13%
	23年	5,245	874	970	937	739	(愛知産比率 3%)
	5カ年平均	5,616	963	1,067	1,004	850	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	5,300	900	1,100	900	800	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木中心に福岡、佐賀から入荷する。各産地ともに低温・日照不足の影響で着色が進まず、上旬まで入荷量が増加しない状況にある。栃木は、気温が高まる3月中旬以降、福岡は下旬以降に増加する見込み。入荷量は前年並みとなり、価格は前年をわずかに上回るものと見込まれる。</p>					

切花・鉢花の3月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 2月25日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実 績	19年	3,485	61	
		20年	3,358	61	
		21年	3,024	63	
		22年	3,023	63	
		23年	2,537	60	
	5ヶ年平均	3,085	62		
24年見通し	2,650	62			
概要	愛知、三重、沖縄等から入荷。低温の影響でかなりの遅れ気味。重油高で思ったように暖房できず、それに加え曇天が続いていることから全体的に遅れている。沖縄に関しては比較的順調に推移しているの、色物に関しては安定した入荷が期待できそう。				
小 ぎ	実 績	19年	2,880	38	
		20年	2,772	34	
		21年	2,742	35	
		22年	2,669	34	
		23年	2,498	35	
	5ヶ年平均	2,712	35		
24年見通し	2,730	35			
概要	沖縄中心の入荷。昨年はかなり寒く順調さを欠いた状態であったが、今年は気温が低くなく安定した作柄で推移。今季は安心できる状態で、色バランスも安定している。しかし、赤小に関しては順調に行くことが少ないので、今年もそのようになる可能性はある。ピークは12日、14日あたり。				
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	19年	1,485	54	
		20年	1,642	40	
		21年	1,462	47	
		22年	1,348	47	
		23年	1,636	31	
	5ヶ年平均	1,515	43		
24年見通し	1,600	40			
概要	愛知、和歌山、長野等から入荷。1月、2月の冷え込みで入荷は少なめ。重油高により今後も春先まで急激な増加も望めない見通し。3月は安定、もしくは高水準の動きとなると思われる。				
か す み	実 績	19年	280	91	
		20年	357	63	
		21年	309	67	
		22年	275	74	
		23年	205	70	
	5ヶ年平均	285	73		
24年見通し	210	73			
概要	高知、和歌山、熊本から入荷。各産地とも生育順調。昨年は震災の影響で販売に苦しんだが、今年は業務から一般まで活発な動きが見込め、相場は堅調。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	19年	391	212	
		20年	437	182	
		21年	386	188	
		22年	322	212	
		23年	376	160	
	5ヶ年平均		382	190	
	24年見通し		380	190	
概要	高知、愛知、埼玉、静岡、岐阜から入荷。LA、OHともに遅れ気味で入荷。寒さが続くと3月後半までだらだらとした入荷となり、相場は堅調な見通し。鉄砲は作付けが減少しており、業務の動き次第では物不足となり引き合いが強くなる見込み。				
洋 ら ん	実績	19年	487	81	
		20年	409	94	
		21年	385	89	
		22年	311	111	
		23年	472	64	
	5ヶ年平均		413	86	
	24年見通し		470	86	
概要	徳島、愛知、高知を中心に輸入物が入荷。卒業式関連の需要で若干の引き合いが期待される見込み。全般的に前月に引き続き苦しい展開となりそうで、葬儀需要に期待したい。				
ば ら	実績	19年	1,035	89	
		20年	909	97	
		21年	1,007	94	
		22年	937	108	
		23年	943	94	
	5ヶ年平均		966	96	
	24年見通し		990	96	
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山から入荷。例年になく重油の高騰のおかげで下位等級が少ない。60~70cmぐらいが比較的多く、単価は取りやすいが全体としての入荷は少ない。3月は卒業式や歓送迎会等の需要もかなり多いため、堅調な見込み。また、東北の動きに注意しておかないと入荷が十分に見込めず、難しい月になる見通し。				
枝 も の	実績	19年	1,840	45	
		20年	1,747	44	
		21年	1,529	46	
		22年	1,543	46	
		23年	1,823	41	
	5ヶ年平均		1,697	44	
	24年見通し		1,875	44	
概要	静岡、長野を中心に入荷。促成物の桜、コデマリが主体となり入荷する。彼岸向けに桜、榊、ちらさきが、卒業式向けにボタン、レンギョ、桜など需要に合った花物の引合いは強くなる見通し。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラ	実績	19年	16,275	489	
		20年	13,789	551	
		21年	10,378	580	
		22年	8,571	465	
		23年	12,988	357	
	5ヶ年平均		12,400	487	
	24年見通し		12,500	350	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。6号鉢以下のものは増加しそう。単価は厳しそう。この月はイベントの多い月でもあるので、企画販売に力を入れたい。 昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(75.5%)、2位長野(15.6%)、3位埼玉(3.9%)となっている。</p>				
ファレノ	実績	19年	38,908	3,283	
		20年	41,043	2,902	
		21年	34,247	3,155	
		22年	37,098	3,011	
		23年	46,318	2,268	
	5ヶ年平均		39,523	2,893	
	23年見通し		47,000	2,200	
概要	<p>入荷量は、1~2月の開花抑制によるものが、この月にずれ込み増加か。この月はイベントの多い月でもあるので、大輪、中輪ともイベントシーズン用の商品構成となる。単価は厳しそう。 昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(65.1%)、2位山梨(5.7%)、3位静岡(4.5%)となっている。</p>				
バラ及びミニバラ	実績	19年	90,695	221	
		20年	97,856	227	
		21年	95,017	217	
		22年	98,165	244	
		23年	100,364	202	
	5ヶ年平均		96,419	222	
	24年見通し		100,000	200	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。2月の冷え込みが厳しい分、月前半は入荷微減か。大輪系品種の人気は良さそう。反面、3、5号鉢のミニバラ系は厳しそう。 昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(48.0%)、2位岐阜(44.6%)、3位愛媛(3.5%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	19年	95,159	231	
		20年	109,679	188	
		21年	76,721	217	
		22年	95,412	222	
		23年	88,513	212	
	5ヶ年平均		93,097	213	
	24年見通し		88,000	210	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。この月はイベントの多い月でもあるので、活発な動きとなりそう。単価も安定か。 昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(31.6%)、2位埼玉(21.5%)、3位奈良(20.1%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	19年	124,529	134	
		20年	124,021	118	
		21年	100,148	123	
		22年	84,455	142	
		23年	102,357	122	
	5ヶ年平均		107,102	127	
	24年見通し		105,000	120	
概要	<p>入荷量は、1～2月の厳しい寒さから、この月にずれ込み増加か。この月はイベントの多い月でもあるので、月前半は活発な動きとなるが後半は厳しそう。 昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位静岡(26.4%)、2位愛知(19.8%)、3位埼玉(17.0%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	19年	60,395	763	
		20年	64,144	663	
		21年	47,287	711	
		22年	45,928	707	
		23年	38,368	582	
	5ヶ年平均		51,224	691	
	24年見通し		40,000	580	
概要	<p>入荷量は、1～2月の開花抑制によるものが、この月にずれ込み増加か。単価は厳しそう。 昨年3月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(52.4%)、2位岡山(15.1%)、3位高知(9.4%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績 (2011年)

1 輸入実績

品名	1 2 月						1 2 月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	73,700	108.6	6,299,007	78.1	85	72.0	832,716	141	77,031,089	127	93	90.1
トマト	339	128.7	115,668	133.9	341	104.0	2,963	116	924,886	103	312	88.5
たまねぎ	30,506	92.7	913,393	77.7	30	83.8	373,123	148	14,024,395	130	38	88.2
にんにく	1,813	125.9	173,280	51.5	96	40.9	19,248	123	3,225,250	111	168	90.4
ねぎ	4,291	79.4	430,507	69.0	100	86.9	52,479	131	5,053,959	133	96	101.5
ブロッコリー	1,429	28.4	211,091	25.6	148	90.1	36,580	111	5,872,683	106	161	95.1
結球キャベツ	1,406	58.7	41,967	53.7	30	91.4	27,025	165	849,074	140	31	84.8
にんじん・かぶ	4,583	59.1	129,029	43.9	28	74.3	80,059	149	3,552,878	157	44	105.1
ごぼう	4,783	126.7	236,822	86.6	50	68.4	45,569	153	3,223,439	193	71	126.4
えんどう	192	146.8	56,958	103.5	296	70.5	2,059	123	603,876	132	293	107.0
アスパラガス	1,014	63.0	669,074	71.9	660	114.1	12,308	123	6,569,095	130	534	105.9
まつたけ	13	2.2	39,034	2.2	3,055	97.5	1,215	69	5,714,669	103	4,708	149.8
しいたけ	991	224.0	246,429	212.4	249	94.8	5,321	131	1,381,790	134	260	102.4
かぼちゃ	17,193	1033.2	1,195,513	1190.7	70	115.2	114,574	138	7,461,752	134	65	96.7
果実(生鮮・乾燥)	130,044	88.0	13,672,421	77.1	105	87.6	1,863,479	116	217,207,967	115	117	99.1
バナナ	78,752	82.7	4,417,892	73.3	56	88.7	1,064,125	114	71,464,660	110	67	97.0
パイナップル	13,530	110.8	773,766	105.4	57	95.1	152,859	131	9,376,816	127	61	96.7
レモン	3,445	137.7	395,894	130.1	115	94.5	51,880	124	5,404,256	102	104	82.7
オレンジ	3,880	43.2	403,859	39.1	104	90.5	115,330	111	10,704,307	104	93	93.5
グレープフルーツ	10,112	229.1	966,702	252.7	96	110.3	160,004	105	13,556,970	98	85	92.8
メロン	2,249	77.3	228,656	96.9	102	125.3	33,047	128	3,120,089	122	94	95.7
ぶどう	1,116	99.0	300,297	106.9	269	107.9	15,410	168	3,208,471	196	208	116.6
キウイ	53	1.1	7,896	0.3	149	26.0	65,895	107	21,041,052	103	319	96.3
いちご	63	8.5	55,240	9.3	874	110.1	3,395	130	2,729,653	129	804	99.3
切花(生鮮・乾燥)	4,902	132.2	3,417,879	120.7	697	91.3	44,138	126	31,031,432	120	703	95.2
鳥獣肉類	165,984	123.2	70,805,606	126.5	427	102.7	1,872,753	129	814,779,458	132	435	102.5
牛肉(くず肉含む)	45,715	136.1	18,425,407	136.9	403	100.5	518,227	129	211,008,374	129	407	100.5
豚肉(くず肉含む)	67,585	120.2	35,481,902	120.3	525	100.1	793,205	125	416,056,039	125	525	100.0
鶏肉	45,965	119.5	12,348,460	135.9	269	113.8	471,841	136	130,446,384	165	276	121.9
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	183,055	115.7	98,630,449	119.5	539	103.3	1,810,258	125	1,002,983,654	133	554	106.4
まぐろ類	15,681	76.0	13,868,230	109.1	884	143.7	202,490	112	177,872,652	128	878	114.0
さば・さんま・あじ・いわし	21,216	160.0	4,768,472	197.8	225	123.6	106,354	150	20,903,632	179	197	119.4

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	5,424	146.9	2,376,674	218.4	438	148.7	23,046	119	8,429,356	130	366	109.0
うんしゅうみかん	253	27.5	52,731	67.9	209	247.2	2,582	221	375,740	189	146	85.3
りんご	4,892	368.2	2,131,448	463.8	436	126.0	18,205	123	6,499,788	153	357	124.9
なし	68	83.3	33,267	75.3	490	90.4	574	92	297,985	94	519	101.8
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	348,478	125.1	-	-	586	-	2,251,259	97	3,839	-
緑茶	220	101.3	499,740	127.2	2,268	125.5	2,387	131	4,715,582	135	1,975	102.7

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100) (愛知県 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	23年 8月	99.9	93.4	101.3	99.6	101.9
	9月	99.9	101.4	88.8	99.8	101.9
	10月	100.0	111.2	92.2	99.7	100.1
	11月	99.4	90.3	94.8	99.4	99.9
	12月	99.4	90.6	98.9	99.5	101.1
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	23年 8月	99.7	93.4	102.5	102.8	104.4
	9月	99.9	104.7	95.3	105.1	104.6
	10月	100.0	114.4	93.3	102.0	104.1
	11月	99.3	91.0	93.4	98.8	101.5
	12月	99.3	92.3	98.6	100.0	103.1

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
22年平均	22年平均	95.7	98.0	100.7	91.5	98.5
	23年 8月	91.7	86.8	92.5	105.8	101.6
	9月	99.1	90.8	114.7	93.4	101.3
	10月	107.4	97.2	137.3	103.7	99.0
	11月	98.1	97.9	93.6	135.9	98.1
	12月	102.3	99.3	109.9	135.2	99.4

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシカ り」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
22年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
23年 8月	1,828	106	161	693	308	297	141	354	195	491	566	164	-
9月	1,883	122	212	748	756	267	178	344	210	601	645	193	-
10月	1,987	169	291	759	572	300	217	363	205	628	925	186	-
11月	2,058	133	142	619	331	299	138	317	213	553	637	178	503
12月	2,053	118	128	565	401	286	113	356	224	687	665	183	447
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
22年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
23年 8月	-	285	383	-	226	798	542	155	173	294	230	853	436
9月	753	280	382	-	239	734	532	149	165	296	236	862	428
10月	524	272	391	-	225	691	544	158	190	308	229	841	422
11月	466	240	395	-	210	646	521	150	164	295	219	756	398
12月	466	291	400	176	219	732	532	151	167	322	224	733	409

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 465
平成24年3月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417